2025年⚫︎⚫︎月⚫︎⚫︎日

報道関係者各位　御中

特定非営利活動法人DPI日本会議

議長　平野みどり

**全国一斉行動！UDタクシー乗車運動の取材のお願い**

車いすのまま乗車できるユニバーサルデザインタクシー（以下　UDタクシー）の普及が進んでいますが、残念ながら車いすの乗車拒否がなくなりません。国交省はこれまで３回事務連絡を発出し、タクシー事業者に対し、車いすユーザーの乗車拒否は道路運送法に違反すること、定期的に研修を実施すること、UDタクシーを指定した予約・配車が可能となるようにサービスを充実させること等を求めています。

DPI日本会議では、２０１９年度、２０２３年、２０２４年の１０月に全国一斉でUDタクシーの乗車運動を行い調査しています。過去３回実施した主な調査結果は以下の通りです。

1. 乗車拒否は減少　27%(2019)➡35%(2023)➡**31%(2024)**

電動車いす　　　25%(2019)➡42%(2023)➡**29%(2024)**

1. 簡易電動車いすの乗車拒否が増加　16%(2019)➡40%(2023)➡**47%(2024)**
2. 東京は乗車拒否が減少　21%(2019) ➡ 17%(2023)➡**8%(2024)**
3. 東京以外は乗車拒否が増加　29%(2019) ➡ 41%(2023)➡**44%**(2024)

乗車拒否は東京都内は１７.２％と減少傾向がありますが、それ以外の地域は４１.３％と増加しています。また電動車椅子の乗車拒否も増加しています。

DPI日本会議では、乗車拒否をなくすために、本年も１０月２４日（金）に全国一斉行動！UDタクシー乗車運動を実施します。車いすユーザーがUDタクシーに乗車することを通して、乗車拒否の実態を把握し、課題がどこにあるか調査し、併せて事業者の素晴らしい取り組みも探し、その結果をまとめ、事業者、メーカー、国交省等へ改善の働きかけを行います。

つきましては、ぜひともこの全国一斉行動の様子を取材していただきたいと思います。私たちは、この運動を通じて、事業者とドライバーが今一度車いす乗車の研修を行い、自信を持って車いすユーザーを乗車出来るようになることを願っています。ご多忙の折、大変恐縮ですが、よろしくお願い申し上げます。

なお、この取り組みの詳細につきましては、同封したチラシをご覧ください。

1. 日時

* ２０２５年１０月2４日（金）

1. 場所

* 全国各地

1. 内容

* 車いすユーザーが全国各地でどの事業者であっても全てのUDタクシーに乗車できるようにするため、乗車拒否がどのくらい起きているのか、課題はどこにあるか、事業者の素晴らしい取り組みも含めて集めます（＊ドライバーや事業者を批判することが目的ではありません。）。
* 調査結果をまとめ、メーカーには車両の改善を、タクシー会社と全国ハイヤー・タクシー連合会には接遇の改善を、国土交通省等にはUD車両認定基準を含めた改善を求めます。

1. 方法

* 実際に車いすユーザーがUDタクシーに乗車し、調査します（目標全国で１００件）。
* ①流し、②タクシー乗り場、③アプリを使った配車、④電話での配車の４つの方法で乗車します。
* 座席には移乗せず、車いすのまま乗車してください。
* 乗車できたか、乗降にどのくらい時間がかかったか、乗車するためのバリアがどこにあるか、ドライバーや事業者の良い取り組みがあるか等を調査し、シートに記入します。

※タクシー料金は大変申し訳ございませんが、自己負担でお願いします。

1. 対象

* 車いすを利用している人。手動車いす・簡易電動車いす・電動車いす。

1. 主催・問合せ先

DPI日本会議（担当：佐藤聡）

　　101-0054東京都千代田区神田錦町3-11-8 武蔵野ビル5階

携帯：090−6069−１９０８

メールアドレス　satoshi@dpi-japan.org